

観光地域の魅力度分析

中京大学 増田ゼミナール



目次

1. はじめに
2. 先行研究
3. 分析
4. 結論



1. はじめに

日本で観光の目標としている

「明日の日本を支える観光ビジョン」

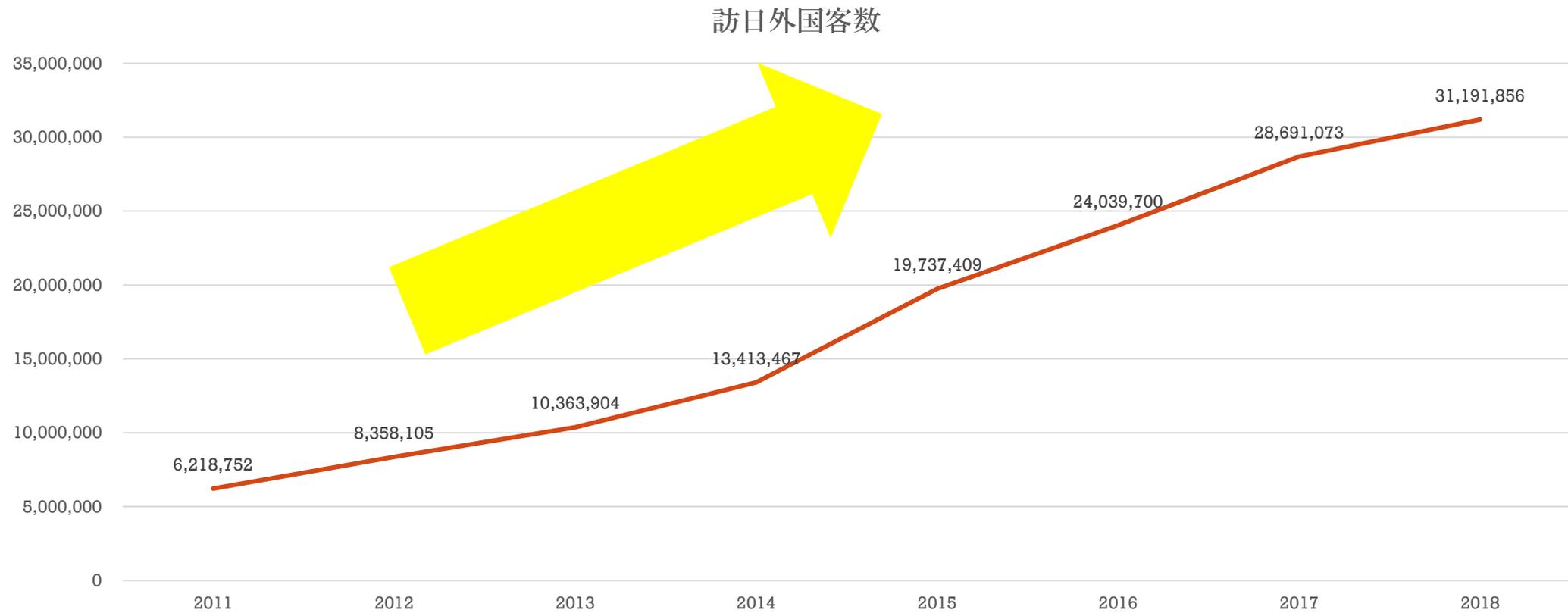


「明日の日本を支える観光ビジョン」とは

- 平成28年3月30日、明日の日本を支える観光ビジョン構想会議（議長：安倍内閣総理大臣）にて決定したもの
- 訪日外国人旅行者数を2020年に4000万人、2030年には6000万人達成させる等の目標を設定

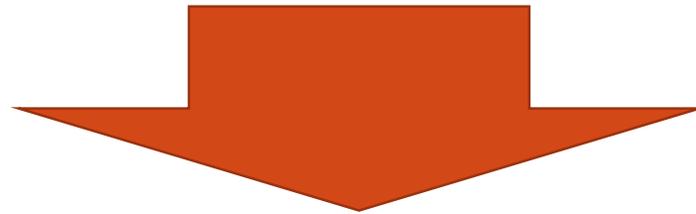


訪日外国客数



観光の経済的波及効果

- 2017年の訪日外国人の一人当たり消費額は約15.4万円
- 島根県が訪日外国人旅行客が一番少なく約2.3万人

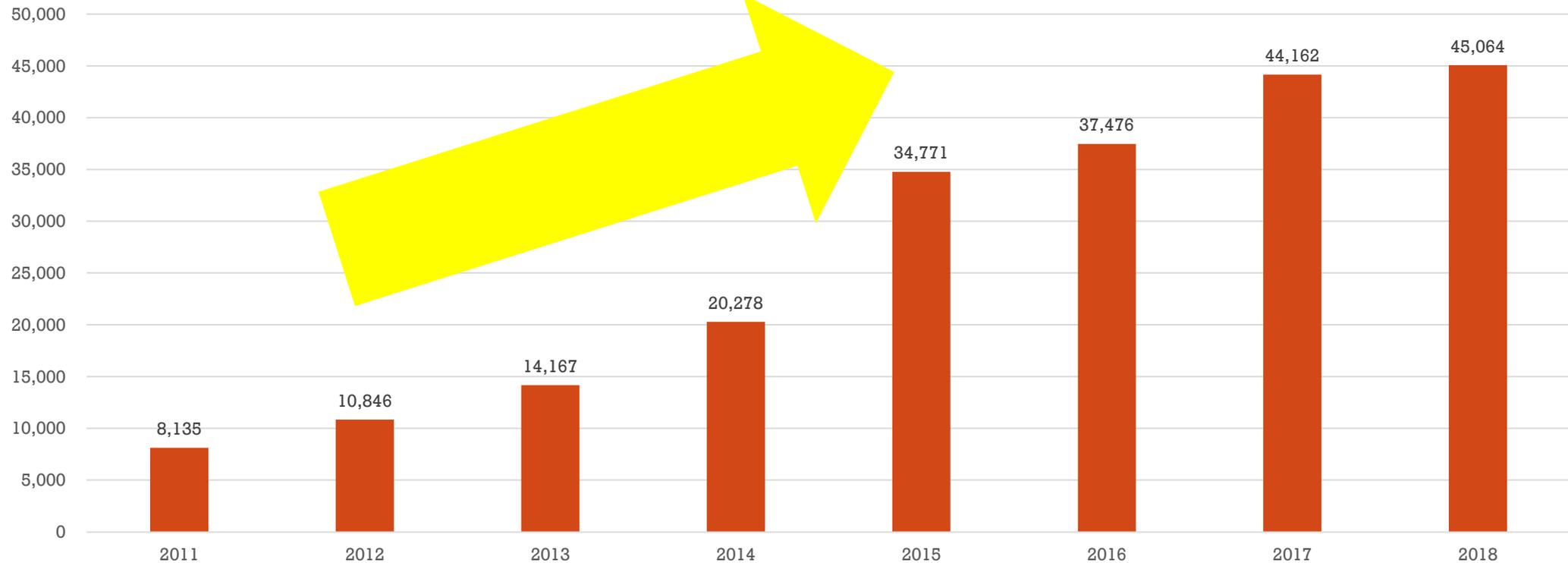


- 単純計算で訪日外国人が一番少ない県でも、年間約35.4億円の消費が生まれている



外国人旅行消費額

訪日外国人旅行消費額（億円）



このように

- 観光産業は発展し続けており日本の魅力を世界に広めつつある
- 観光消費がもたらす経済波及効果は大きく、訪日外国客数を増やすことは地方経済にも大きな意味がある



本研究の目的

- 観光において重要視されている要因を分析
- 重要視されている要因の活用法や問題点を見つけ出す



2. 先行研究



室谷 (1998)

研究目的

魅力度の評価手法を開発することで、魅力度による相対的な評価を可能にする。
観光地魅力の特徴（長所，短所）を明らかにすること。

研究手法

魅力の構成要素を、網羅的に抽出→体系化→評価基準→評価の総合化→ウエイトを決定
(アンケートによる研究)



構成要素

- ①雄大な山，美しい海，由緒ある神社仏閣等観光地にもともと存在する【賦存資源】
- ②温泉，ゴルフ，遊園地，美術館，イベントなど当該観光地が提供可能な【活動メニュー】
- ③滞在拠点であり，サービス，ホスピタリティが凝縮した形であられる【宿泊施設】
- ④個々の資源ではなく，観光地の面的，空間的なアメニティとしての【空間快適性】



香月 (2018)

- 研究手法

観光入込客数を被説明変数、観光資源を説明変数とし、自然資源（17項目）、歴史資源（13項目）、現代資源（7項目）に分け重回帰分析

- 研究結果

「観光資源数」、「国宝認定（ダミー）」等が正の有意な影響を与える



以上2つの先行研究より影響度合いの高そうな
賦存資源、とりわけ国宝を含む文化財に
焦点を当てて研究をとり進める



仮説：観光地域の魅力度が宿泊者数に影響を及ぼしているかどうか。

- 社会的意義

- 日本において重要な観光収入を増やすことが可能→今年の1月に阿部首相が2020年に訪日外国人旅行者数4000万人への施策強化を示す

- 学術的意義

- 先行研究ではアンケートによる分析方法だったため感受性に起因する部分が大きかった→より具体的な根拠にするためデータに基づく分析



3. 重回帰分析による分析

- 説明変数(X)が複数ある場合の回帰分析

$$Y=F (X_1,X_2,X_3,\dots,X_k)$$

Y ; 被説明変数、 X ; 説明変数

- 被説明変数Yに影響を及ぼすXが複数ある場合、統計的に有意である説明変数Xは、何かを明らかにする。



観光目的の宿泊者数が50%以上 (全体)

	係数	標準誤差	t	P-値
有形文化財	119.5	4764.8	0.03	0.98
無形文化財	411474.2	195332.1	2.11	0.04
民俗文化財	-55579.3	24720.2	-2.25	0.03
記念物	20053.5	9272.8	2.16	0.04



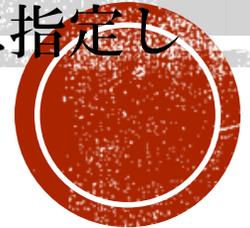
観光目的の宿泊者数が50%以上 (外国人)

	係数	標準誤差	t	P-値
有形文化財	-1152.62	1566.186	-0.74	0.47
無形文化財	148379.7	64205.32	2.31	0.03
民俗文化財	-21136.3	8125.486	-2.60	0.01
記念物	9431.923	3047.939	3.09	0.00



有形文化財とは

- 有形文化財とは、**建造物**，**工芸品**，**彫刻**，**書跡**，**典籍**，**古文書**，**考古資料**，**歴史資料**などの有形の文化的所産で，我が国にとって歴史上，芸術上，学術上価値の高いものの総称。建造物以外のものをまとめて**美術工芸品**と呼ぶ。
- 国は、有形文化財のうち，重要なものを「**重要文化財**」に指定し，さらに世界文化の見地から特に価値の高いものを「**国宝**」に指定して保護を図っている。



無形文化財とは

- 無形文化財とは、演劇，音楽，工芸技術，その他の無形の文化的遺産で我が国にとって歴史上または芸術上価値の高いもののこと。
- 無形文化財は，人間の「わざ」そのものであり，具体的にはそのわざを体得した個人または個人の集団によって体現される。



民俗文化財とは

- 民俗文化財とは衣食住，生業，信仰，年中行事等に関する風俗慣習，民俗芸能，民俗技術及びこれらに用いられる衣服，器具，家屋，その他の物件など人々が日常生活の中で生み出し，継承してきた有形・無形の伝承で人々の生活の推移を示すもの。



文化庁HPより引用

<http://www.bunka.go.jp/seisaku/bunkazai/shokai/index.html>

代表的な文化財の紹介

- 有形文化財

国宝久能山東照宮（静岡県静岡市）、国宝旧東宮御所（東京都南区）

- 無形文化財

京舞(保持者、井上八千代さん)、蒔絵(保持者、室瀬和美さん)



- 民俗文化財

大江八幡神社の御船行事(静岡県相良町)、花祭(愛知県様々な場所)

- 記念物

名古屋城(愛知名古屋市)、コウノトリ(地域の定めなし)



画像、<http://www.bunka.go.jp/seisaku/bunkazai/shokai/index.html>
より引用

これより...

- 有形文化財以外はそれぞれ魅力度として影響を及ぼしている
- より詳細に効果をあらわしているものを分析
(無形文化財は母数が少なかったため除外)



観光目的の宿泊者数が50%以上 (全体)

	係数	標準誤差	t	P-値
有形民俗文化財	4535.487	44724.49	0.10	0.92
無形民俗文化財	-48043.3	38119.79	-1.26	0.21



観光目的の宿泊者数が50%以上 (外国人)

	係数	標準誤差	t	P-値
有形民俗文化財	2550.555	15422.38	0.17	0.87
無形民俗文化財	-17405.5	13144.88	-1.32	0.19



観光目的の宿泊者数が50%以上 (全体)

	係数	標準誤差	t	P-値
史跡	11469.7	12952.2	0.89	0.38
名勝	150655.9	142287.8	1.06	0.30
天然記念物	8939.2	19446.8	0.46	0.65



観光目的の宿泊者数が50%以上 (外国人)

	係数	標準誤差	t	P-値
史跡	10141.9	4267.5	2.38	0.02
名勝	42676.5	46881.7	0.91	0.37
天然記念物	-4025.8	6407.4	-0.63	0.53



記念物とは

記念物とは、「史跡」、「名勝」、「天然記念物」の総称である。

■ 史跡

貝塚，古墳，都城跡，城跡，旧宅，その他の遺跡で，我が国にとって歴史上または学術上価値の高いもののうち重要なもの。

■ 名勝

景色が特によい土地であり庭園，橋きょうりょう梁，峡谷，海浜，山岳その他で我が国にとって芸術上又は観賞上価値の高いもののうち，重要なもの。すぐれた国土美の有様を様々なかたちで表現する名勝は，風致景観の観賞を通じてその価値を発揮する記念物。



■ 天然記念物

動物，植物及び地質鉱物で我が国にとって学術上価値の高いもの。天然記念物は，日本列島の成り立ちを示す地質現象や，過去の生物の姿を知ることのできる化石，日本列島の生物地理学的な特性を示す固有種等の動植物などで，日本列島がたどってきた「自然史」としての意義を持っている。

文化庁HPより引用

<http://www.bunka.go.jp/seisaku/bunkazai/shokai/kinenbutsu/>



結果

- 文化財それぞれでは効果を及ぼしていてもその文化財を細かく見たときに決定的な要因となっているものは少ない

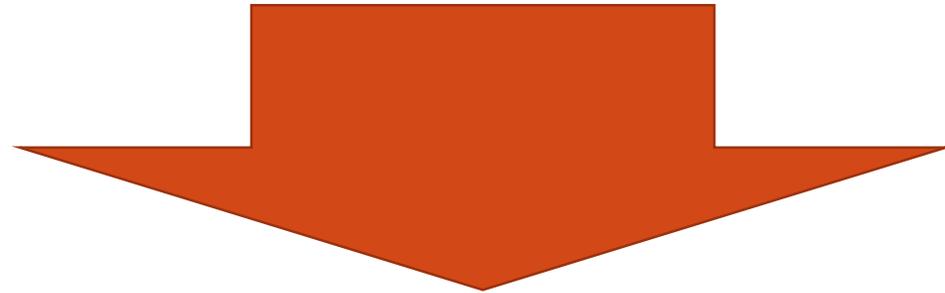
しかし

- 外国人旅行者には史跡(城跡や古墳などのうち歴史・学術的価値の高いもの)が大きく影響を与えている



つまり...

城や古墳などの史跡は観光地域の魅力度として大きく働いている



これを活かすことができれば更なる観光収入の拡大を見込めるのではない
か



活用方法

- 昇龍道など城も見れて日本の魅力も伝えられるルートを積極的にアピール
- 名古屋おもてなし武将隊のようなPR部隊の活動を推進
- 史跡周りの交通機関の強化
- 周辺でのイベントを活発化する



課題

- 史跡そのものを増やすことが不可能
- リピートしたいと思わせられるような要因を探し出すのが困難
- 観光のメインにはなるが収益の要にはなりえない
- 文化的なものなので流行とは隔離されがちになってしまう



4. 結論

- 観光にとって文化財は魅力度として影響を与えている
- なかでも史跡は外国人旅行者には大きな要因となっている
- 活用方法もまだまだ存在し更なる発展が見込める
- しかし不安材料もあり安定はしないと考える



参考文献および参考資料

- 室谷正祐 観光地の魅力度評価-魅力ある国内観光地の整備に向けて- <https://ci.nii.ac.jp/naid/130007656026>
- 香月義之 観光地の魅力度向上の要因分析
<https://doors.doshisha.ac.jp/duar/repository/ir/26283/019020010005.pdf>
- 観光庁 <http://www.mlit.go.jp/kankocho/>
- 文化庁 <http://www.bunka.go.jp/>



ご清聴ありがとうございました

